

令和6年度第14回士別市教育委員会会議録

1. 日 時 令和7年3月27日(木) 午後4時00分～午後5時00分
2. 会 場 士別市教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 泉 山 浩 幸 生涯学習部長 三 上 正 洋
職務代理者 馬 場 千 晶 学校教育課長 岡 田 詔 彦
委 員 加 藤 洋 之 社会教育課長 千 葉 真奈美
委 員 山 田 敦 久 合宿の里・スポーツ推進課長 徳 竹 貴 之
(欠席 多田千鶴委員)

4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

1 教育長挨拶

【各種イベント等について写真などを用いて説明】

- ・3月15日に士別幼稚園、3月18日に瑞祥幼稚園の卒園式に出席。代表園児が卒園の言葉をしっかりと述べていた。
- ・3月26日、北海道幼児教育推進協議会のオンライン会議に参加。小・中学校の連携は当たり前になってきているが、幼稚園・小学校の連携はなかなかむずかしい。スムーズな接続がとても大事である。
- ・3月1日、士別東高の卒業式に出席。2人の卒業生の姿は大変立派であった。
- ・人事異動は組織力の強化、人材育成のために行うもの。これまで築いてきて、できたこと、道半ばのこともあると思うが、しっかりと方向性を示して引き継ぎをすることが大切である。
- ・朝日クロスカントリー大会、あさひベタ雪まつりなどについて説明。

2 議事について

○泉山教育長 進行

議案第42号 士別市教育委員会所管事務各種審議会等委員の選任について、説明を求める。

○千葉課長、徳竹課長

- ・教育委員会が所管する各種審議会、協議会の委員について説明。すでに決まっている方のほか、各団体などで今後選出いただく方もおり、決まりしだい報告。

○泉山教育長

各種審議会等委員について、まだ決まっていないところは決まりしだい報告することによろしいか。
(全員了承)

○泉山教育長

議案第43号 令和7年度地域コーディネーターの選任(委嘱)について、説明を求める。

○千葉課長

- ・令和7年度地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)候補者について、資料により説明。

○泉山教育長

このとおり委嘱することとしてよろしいか。
(全員了承)

○泉山教育長

議案第 44 号 士別市小中学校適正配置計画について、説明を求める。

○岡田課長

適正配置計画について、これまでの経過を報告する。平成 23 年に策定した適正配置計画が令和 6 年度末で終了することから、7 年度からの計画策定のため、昨年 12 月に検討委員会を立ち上げた。1 月 21 日から各地区で「小中学校のあり方懇話会」を開催。2 月 14 日から 3 月 15 日までの期間で「パブリックコメント」を実施し、4 件の意見があった。

これまでの 3 回の検討委員会では、計画期間を 6 年とすること、また、市独自で定めている適正配置基準をこれまで通りの 10 人以下、小学校 3 学級以下、中学校 2 学級以下という部分について了承いただいた。

地区懇話会、パブリックコメントでの意見については検討委員会で検討いただき、昨日、3 月 26 日に検討委員会から提言書の提出をいただいた。内容は、適性配置対象校として、温根別小学校、糸魚小学校、上士別中学校、朝日中学校の 4 校とし、上士別小学校、多寄小学校の 2 校は、保護者、地域と継続した協議を進めていく学校とする。中央地区の士別小、士別南小、士別中、士別南中の 4 校は、地区懇話会、パブリックコメントにおいて、統合を考えていく必要があるのではないかとの意見があったが、まちづくりの将来像として、実情把握に努め、公共施設の利用に関わる課題でもあると捉え、市の総合計画との関連を図るなど市長部局と一体となった検討を進めることを求めるとされた。地区懇話会の開催後も上士別小、温根別小の PTA 懇談会や南小の学校運営協議会に参加し、意見を伺ってきている。今後も継続して各地区の保護者の皆様から意見を伺い、現場である学校とも連携しながら検討を進めていただきたいという意見があった。

(提言書の内容を踏まえて修正した「適正配置計画案」について説明)

この内容で最終案とすることを考えており、この後、庁議での報告のほか、4 月には議会の会派代表者会議で報告し、公表する考えである。

○泉山教育長

5 月に温根別の地域から要望書が出された。7 年度から児童数が 10 人となり、学級数も減少することになる。朝日中学校、義務教育学校のこともあり、そことの整合性から適正配置基準は大きく変更しないこととした。また、上士別中学校が令和 12 年度に 10 人を切るが、特認校で生徒数が増える可能性もあるため、考慮しながら進めていく。多寄小学校は、令和 12 年までの間に適正配置基準を下回らないが、次の年には下回ることになる。過去に多寄中学校を士別中学校に統合した経過もあることから、今後においても継続して協議していく学校としている。

このようなことで進めてよろしいか。

(全員了承)

○泉山教育長

議案第 45 号 士別市奨学金貸与条例施行規則の一部を改正する規則について、説明を求める。

○岡田課長

これまで奨学金を受けるための願書に、「記名・押印」が必要であったが、手続きの簡素化、利便性の向上のため押印を廃止し、その様式を改正するものである。施行日は令和 7 年 4 月 1 日を予定している。

○泉山教育長

押印を廃止するとなれば、電子データでのやりとりが可能になるのか。

○岡田課長

署名が必要なので電子データではできないと思う。

○徳竹課長

署名したものをPDF化しても無理なのか。

○加藤委員

筆跡は変わらないから問題ないのかもしれないけれど、きちんと書いた書類として必要なのではないかな。

○山田委員

窓口などで直接やりとりする場合は直筆であることが確認できるが、専用のタブレットなどが必要になる。

○徳竹課長

タブレットなどに書くのは直筆であるが、誰が書いたものか分からないデータが送られてきても確認ができないということもある。

○山田委員

管理方法もデータベースであればPDFでいいけれども、ペーパーベースであれば違うような気がする。

○三上部長

ペーパーとデータが混在しているうちは、ペーパーでの管理になると思う。今後の運用については、ご意見を参考にしながら検討したい。

○泉山教育長

この件についてはよろしいか。

(全員了承)

○泉山教育長

議案第46号 土別市外国語指導助手就業規則の一部を改正する規則について、説明を求める。

○岡田課長

本市の外国語指導助手（ALT）においては、国のジェットプログラムを活用して招致するALTと、日本での指導経験がある人材などを確保する市独自の採用をしているALTが存在している。ALTの報酬について、ジェットプログラムでは、全国的に円滑な斡旋を行うため統一の金額となっているが、独自採用のALTは、他自治体との差別化を目的として、ジェットプログラムとは報酬の額が異なっている状況。この度、ジェットプログラム参加者の報酬額の見直しが行われ増額され、これに合わせて独自採用の報酬額についてもジェットプログラムの報酬額に統一し、一本化するため改正をしようとするもの。施行日は令和7年4月1日を予定している。

○泉山教育長

この件についてよろしいか。

(全員了承)

3 その他

◇ICT端末更新に係る各種計画について

岡田課長、三上部長説明

◇当面する今後の日程について

三上部長説明

午後5時00分、会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署 名 者 泉山 浩 芳

会議録調整者 岡田 詔 彦